

新幹線地本申9号

「東京新幹線運輸区発足に関する申し入れ」団体交渉実施！

新幹線地本は3月18日、表題について新幹線統括本部と団体交渉を行いました。主な議論は以下の通りです。（※項目数が多いため、特徴的な部分のみ掲載します。詳細は地本業務部まで！）

その2

【運用関係】

1. 「輸送サービススタッフ」の業務内容を明らかにすること。

回答：今までの役割分担の枠組みを超えて、輸送サービス全体を担うようになって考えている。

会社 輸送サービススタッフというのは、役割で縦割りするのではなく、お客さまの視点から見た際に、輸送計画する企画部門、整備担当、輸送担当、降りた後の駅係員というように、輸送の携わる一つのチームのような捉えをイメージしている。

組合 輸送に携わる方全体をイメージしているとあるが、**東京新幹線運輸区は運転士と車掌の職場である。全体像の話がでてくるのが理解できない。**

会社 そこはこれから作り上げていこうとしている部分になる。会社として先を見据えたときに、運転士は運転士のことだけ…というのではなくて、社員みんなが主体的に考えていく、本社や支社だけではなく現場の皆さんにも考えていただきたいという思いがある。

組合 「輸送サービススタッフ」という考え方が、**現段階で労使の共通認識として成り立っていない。認識が乖離したままなので議論が成り立たない。**

会社 未来のことになるので着地点がハッキリしていないのは確かだが、向かうべき方向性としてのイメージをお示しているという段階である。今後の新たな技術を当社がどのように受け入れて…という事を考えながらあてはめていく段階にあるので、単に運転士と車掌をくっつけようとかそういった話だけではなくて、色んな技術を踏まえたうえで、当社としてどのような業務にしていくのかという部分を今後突き詰めていくことになる。例えば自動運転の技術が進めば今の仕事の枠組みも変わってくる、そうなればどういった業務になっていくのか…ということになる。

組合 その認識ならば、今後は「如何様にもなる」し、その受け止めは社員それぞれになる。行き先に不安を感じている社員もいる。その不安に対して会社はどうやっていくのかということだ。**お互いに作り上げていきましょうと言うわりには、イメージを投げたまま、そのことでコミュニケーションを深めている素振りはないに等しいではないか。社員の不安の声というのは、会社側が把握している以上に深いものになっている。この問題意識は伝えておく。**

対立

2. 「輸送サービススタッフのオフィスにふさわしい」とは具体的にどのような内容を明らかにすること。

回答：明るく開放的なレイアウトとし、新型コロナウイルス感染症予防も考慮した設備を整備していく考えである。

組合 社員の議論しやすい環境ということを言っている一方で、**リラックスできる環境がおざなりになっていないか。**

会社 **リラックスできる部分をおざなりにしている訳ではない。**壁を作っているわけではないが、配置についての配慮はしている。今の仕事しながら新しい発想で輸送に携わっていただきたい、新しいものを作っていくとするものを活発化したい考えがある。

「輸送サービススタッフ」って結局なんなんだ？！

乗務員がしっかりリラックスできる環境も重要視するべきだ！！

その3へ続く…